

【市庁舎編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	市庁舎				
-----	-----	--	--	--	--

大分類	行政系施設、子育て支援施設	中分類	庁舎等、幼児・児童施設	施設番号	128
-----	---------------	-----	-------------	------	-----

所管部課	総務課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	中央4丁目2番地1	敷地面積	16,106 m ²
	(東部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	保健センター、地域子育て支援センター			建築年度	平成29年度
建物構造	S	延床面積	12,528 m ²	経過年数	1年
階数(地上)	5階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態						
	-人	438人	440人	439人	市直営						
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)				
	収 入	利用料等		341		① 施設維持コスト	修繕料		551		
		国 費		-			火災保険料		86		
		道 費		-			維持管理委託料		49,618		
		その他		-			敷地借上料		-		
		市費(一般財源)		78,305			工事請負費		-		
	合 計		78,646		支 出	その他維持費		-			
						小 計		50,255			
						② 施設運営コスト		人件費		2,185	
						光熱水費		26,206			
				運営委託料		-					
				その他運営費		-					
				小 計		28,391					
				合 計(①+②)		78,646					
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり						
単位コスト	179,148 円/人		1,339 円/人		6,278 円/m ²						



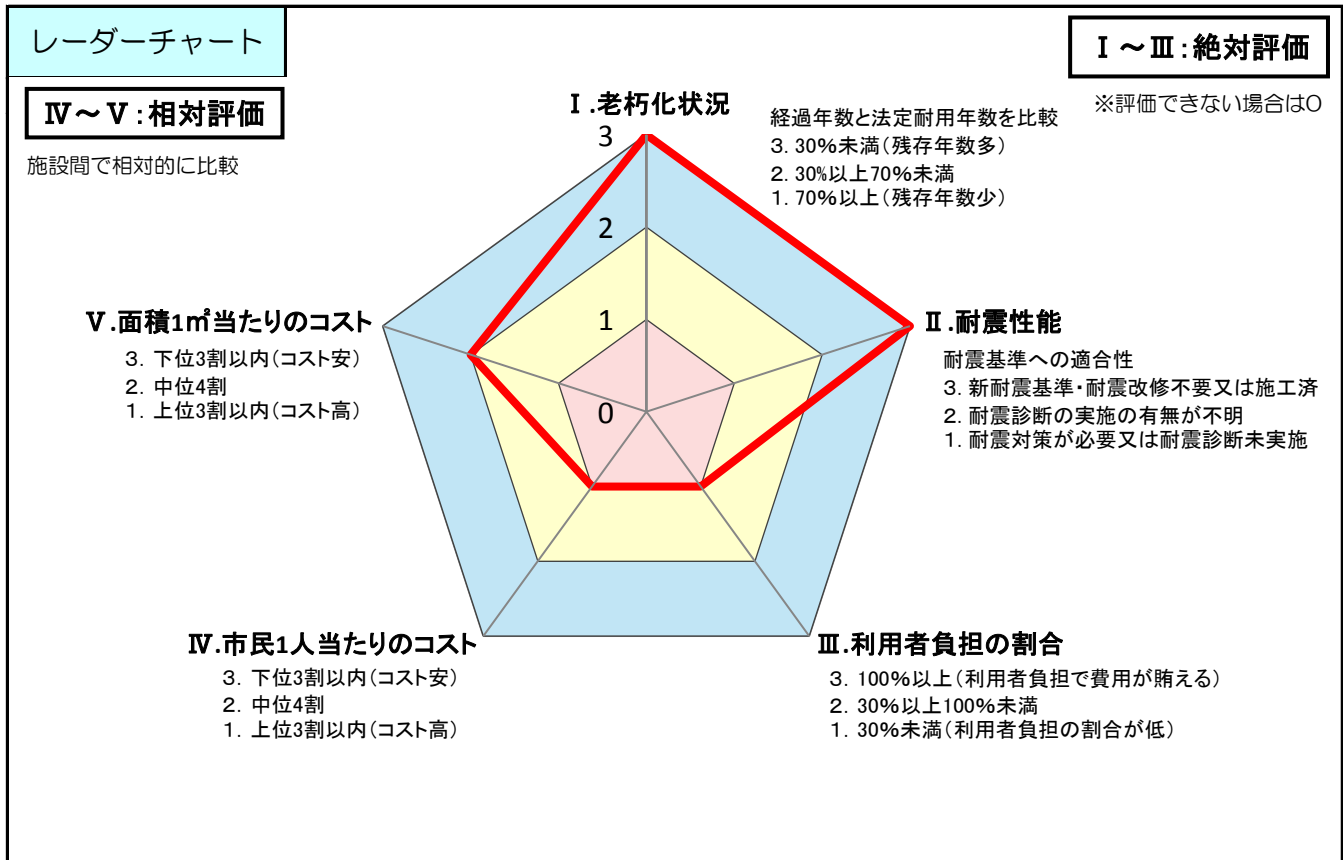
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H29	各種案内サイン防災・庁舎建設課部分貼り替え	50			
H29	内線電話増設工事	19			
H29	庁舎5Fホールコンセント増設修繕	50			
H29	レイアウト変更に伴う内線電話修繕	73			
H29	組織改編に伴うサインマップ等の修繕	274			
H29	調乳用温水器のフィルタ交換及びメンテナンス	84			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	3 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	0 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,339 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	6,278 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	市庁舎別館				
-----	-------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	施設番号	129
-----	-------	-----	-----	------	-----

所管部課	総務課
------	-----


1 土地データ

所在地 (地区)	中央4丁目2番地1	敷地面積	16,106 m ²
	(東部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成3年度
建物構造	S	延床面積	1,499 m ²	経過年数	27年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	599,600千円	法定耐用年数	30年	市民1人当たり更新コスト	10,208円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等	-	-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-	-		火災保険料	28	
		道費	-	-		維持管理委託料	3,311	
		その他	-	-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	4,268	4,268		工事請負費	-	
	合 計		4,268	4,268	その他維持費	-	小 計	3,339
					②施設運営コスト	人件費	-	
					光熱水費	929		
					運営委託料	-		
その他運営費					-			
				小 計	929	合 計(①+②)	4,268	
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		73円/人		2,847円/m ²			

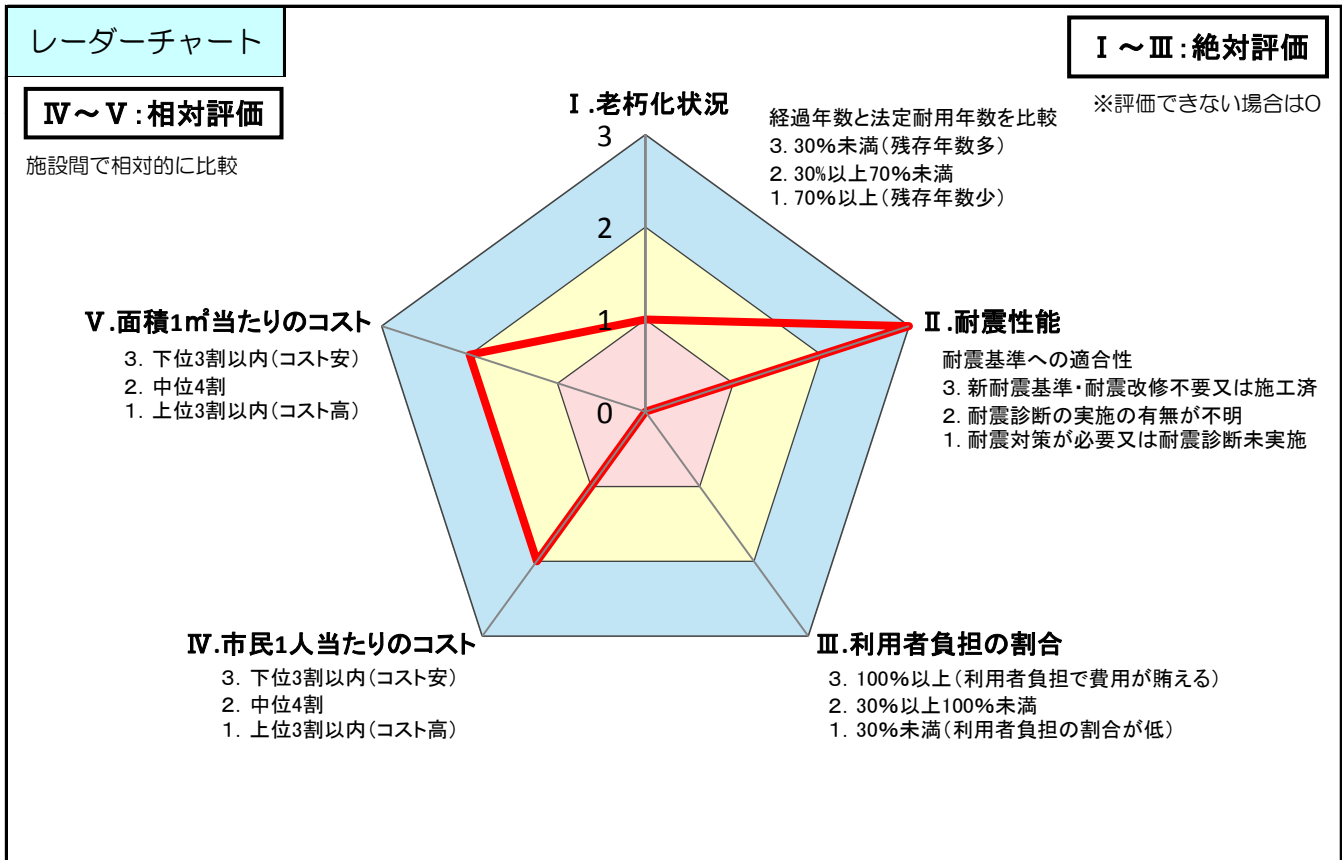
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H19	玄関アプローチ修繕	207			
H19	電源修繕	110			
H23	会議室床修繕	146			
H25	誘導灯修繕	103			
H26	間仕切修繕	505			

5 特記事項

H28維持管理委託料は、庁舎全体額、光熱水費は第3庁舎全体額から述べ床面積により按分した。

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	90 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	73 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	2,847 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	